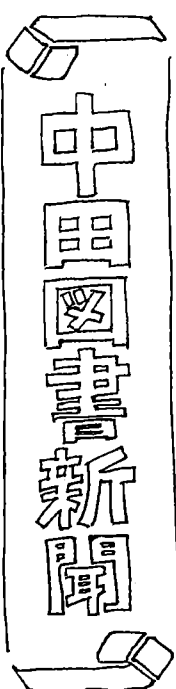
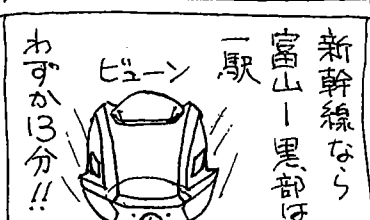
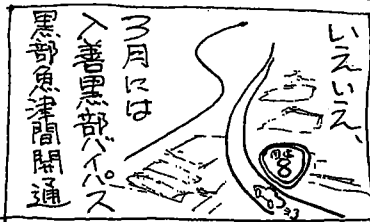
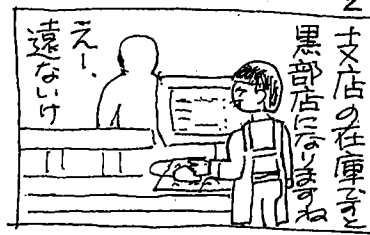


ブックスなかだ掛尾本店本館・専門書館・コミックラボ 富山市掛尾町180-1 TEL076-492-1192 黒部店 黒部市新牧野311 黒部ショッピングセンターメルシー内 TEL0765-5215630



# 帰ってきた BOOKS なかだ黒部店



昨年12月11日、黒部ショッピングセンターメルシー内に「BOOKS なかだ黒部店」がオープンしました。この本屋「BOOKS なかだ」は、お答えすると「魚津のたお声が多数いたいただき嬉しく思うと同時に、予想して「ある言葉」がほとんどの間かれました。ことに若干の寂しさも感じ、黒部の皆様、お忘れではないですか？

しかし、それも無理からぬ話かもしれませぬ。旧黒部店が閉店したのとはもう15年以上前のこと。弊社にもそのことを覚えていて社員が少なくなってきた。かか言う私も、実際にはよく知らなかった。新黒部店は、コンパクトな売場ながら書籍、雑誌、コミックは、もちろん、小・中・高校の参考書から保育書や看護書といった専門書、CD・文具まで幅広く取り揃えております。再び末永く地元のお客様に愛される書店、「あなたのお読みになりたいたい」と思っています。

主な記事から  
 ◆黒部店OPEN  
 旧黒部店の思い出  
 ◆エンタメ大物作家達が教養する作家とは  
 ◆もはや笑い、芝居の余技ではない？

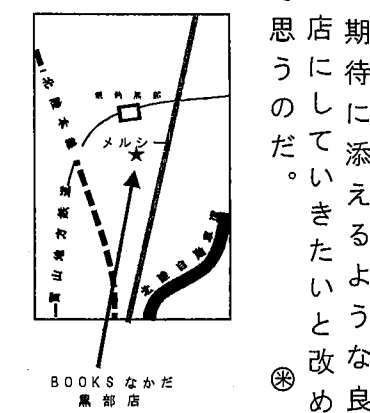
## 始まりの店へ

ある日、黒部市に新店が出来る。十数年前に受けた。黒部市から私の書店員人黒部店が始まった。現在黒部市民の私は辞令をもらう前からおそらく転勤になるのだろうと覚悟をした。

思えば、黒部店とは縁を感じる。元々、旧黒部店は私が小学生の時に母校中央小学校の前に開店。ともワクワクしたものだ。年月を経て、働き出した際もまさかここで働くことになるとはと思った。

右も左も分からないまま始めた書店員生活。小さな店だったので、配本も少なく苦労もしたが自分なりにフェアを行ってみたいと新人ゆえに無謀なチャレンジも出来て楽しかった。

こうして新しい黒部店へ戻ってきて、あの頃とは違いやらなければならぬ事も多く辛いときもある。しかし、旧黒部店のお客様に再会したり、「メルシーに入ってくれて本当に助かる」という言葉を多くいただきました。とても嬉しくご期待に添えるような良い店にしていきたいと思っ



昨年秋、うちの庭で親とら不思議、猫が自然とその中に入っていく。猫が自然とあ。これ、うちの猫にも試してみたがうまくいかなかった。悔しい。

まずは「猫ホイホイのや〜ぞ」。いろいろなメディアで紹介されているので猫ホイホイを。別名「猫転送装置」。床にガムテープで囲いを作るとあ

「この家には障りがある」と本の帯にはおそろしい文句が記載されている通り、怪異譚なです。ただ異能の人が出てきて、怪異を解決という展開はありませぬ。書名につく「営繕」の意味にあるとおり営繕屋・尾端が建築物の修繕をしていくことで、その家にすむ人々が日常を取り戻していく物語です。怪異を鎮め祓うのではなく、共存していくという展開です。

華々しい活躍をする登場人物がいなくても、小野さんの書く怪異はあつからずくく怖さがあります。夜に読むと特にそう感じます。また物語の結末にはほっとした、なにか救いのようなものを感じます。その筆致はさすが小野不由美さんというところでしょうか。

読後本の表紙をじつと眺めていたらいろいろ隠されたものに気付き、改めて驚きました。

## 文芸書の棚から

書店員Kの  
 小学生にウケる  
 読み聞かせ本  
 とっておきの本で内緒にして  
 おきたいぐらいたいのですが、子供達の喜ぶ顔が見たいので教えちゃいます。



「なぞかけ」日本の言葉遊び。その心は？  
 そのまま読むだけではちょっと子供には難しいようですが、ヒントを出しながら読み進めると、次々手を上げて答えを言いたくって仕方がないという顔を見ることが出来ます。小学2年生に読んだときも、わかりにくいかな？と心配だったのですが、食いつきは最高！読みながら心の中で拍手喝采です。

昨年の9月新刊です。あまり知られていないうちにあなたの定番にしてください。

【書肆情報】『猫ホイホイのや〜ぞ』(扶桑社 1000円) 『ニャンモナイト』(風来堂/二見書房 925円) 『営繕 かるかや怪異譚』(小野不由美/KADOKAWA 1500円) 『なぞかけ どうしよう』(中川ひろたか 大島妙子/金の星社 1300円) ※価格は本体価格です

2月13日の主なフェア「不思議の国のアリス150周年」「イスラム圏」「新書大賞」「レジデンドフェア」「経済社会の流れを変えた10冊」「辞書フェア」

天才数学者の秘められた人生



BENEDICT CUMBERBATCH



ALAN TURING

アカデミー賞の有力候補「イミテーション・ゲーム」(原題)の主人公は...

今月のオススメ文庫

作家が逝去した際、追悼を兼ねて作品集が編まれた...

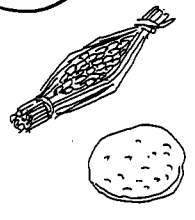
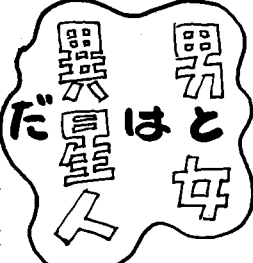
各作品の扉に寄せられた編者のコメントもさすが手練れで、読みどころを端的にまとめている...

日本人の知らない納豆

「納豆って日本固有のものじゃないの?」雑誌「考える」に載った...

人』で始まった高野秀行の新連載を読んで驚いた。タイトルも怪しげな「謎のアジア納豆」...

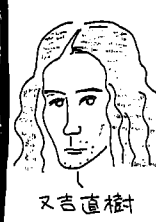
高野さんによると、タイ、ネパール、ブータン他多数の国にも納豆的食品があり、その全貌を研究した書籍はまだない...



著者の横山さんは15年にわたってアジア各地へ赴き納豆を調査。呼称・形状・発酵方法・調理法など、納豆文化の多様性を網羅した集大成的な研究書を著した...

又吉感

文芸誌『文学界』に初小笑む。説が掲載されたことで話題になり多くの人の興味を引いた、お笑いコンビ「ピース」のボケ担当、又吉直樹。



又吉直樹

又吉直樹「火花」単行本化決定。3月1日発売

「家庭では妻が社長、夫は気の利かない新入社員」と書いていたので、その話をしつつ、「もっと私を褒めて、優しく指導してほしい。」と妻に伝えたところ、「社長と新入社員」という言葉だけが強く記憶に残ってしまった...



抱腹絶倒 あそび 体験記

編集後記：北陸新幹線「黒部宇奈月温泉駅」は、現時点で日本一長い新幹線の駅名になるそうです。駅名標の写真を撮りにいくだけでも楽しいかもしれませんね。絵本『黒部の谷のトロッコ電車』(福音館)も発売されます。以上、黒部特集号でした。

【書籍情報】「エニグマ アラン・チューリング伝」上(アンドルー・ホッジス・勁草書房 二七〇〇円)、「納豆の起源」(横山智・NHK出版 一五〇〇円)、「連城三紀彦レジェンド傑作ミステリー集」(連城三紀彦・講談社 五九〇円)、「察しなない男 説明しない女」(五百田達成・デイスカヴァー・トゥエンティワン 一三〇〇円)、「今井舞がゆく! 気になる「あそこ」見聞録」(今井舞・新潮社 一三〇〇円)、「新・四字熟語」(又吉直樹・幻冬舎 五四〇円) ※価格は本体価格です